

量子力学2 レポート問題

2011年11月22日

以下の問題の解答を A4 用紙にまとめ、12月2日(金)午後5時までに学部教務掛(レポートBOX)に提出しなさい。

(A) (一般化された)角運動量演算子を $\hat{J} = \hbar \hat{j}$ と表すとき、 $\hat{j} = (\hat{j}_x, \hat{j}_y, \hat{j}_z)$ は次の交換関係を満たす。ただし、同じダミー添え字については1から3まで和を取る(アインシュタインの規約。)以下の問題も同様。

$$[\hat{j}_i, \hat{j}_j] = i \epsilon_{ijk} \hat{j}_k. \quad (*)$$

ここに、 ϵ_{ijk} は完全反対称テンソルである。 \hat{j}^2 および \hat{j}_z の規格化された同時固有状態を $|jm\rangle$ と書く：

$$\hat{j}^2 |jm\rangle = j(j+1)|jm\rangle, \quad \hat{j}_z |jm\rangle = m|jm\rangle.$$

- (a) (*) のみを用いて、 \hat{j}^2 と \hat{j}_i ($i = x, y, z$) が可換であることを示しなさい。
 (b) $\hat{j}_\pm \equiv \hat{j}_x \pm i\hat{j}_y$ (複合同順) を定義する。このとき、以下の問いに答えなさい。

1. 以下の等式を示せ：

$$\text{i) } [\hat{j}_z, \hat{j}_\pm] = \pm \hat{j}_\pm, \quad [\hat{j}_+, \hat{j}_-] = 2\hat{j}_z. \quad \text{ii) } \hat{j}^2 = \hat{j}_- \hat{j}_+ + \hat{j}_z + \hat{j}_z^2 = \hat{j}_+ \hat{j}_- - \hat{j}_z + \hat{j}_z^2.$$

2. 定数 Γ_\pm を用いて、 $\hat{j}_\pm |jm\rangle = \Gamma_\pm |jm \pm 1\rangle$ と書くことができることを示し、正の実数の範囲で Γ_\pm を求めなさい。

(B) $\sigma = (\sigma_x, \sigma_y, \sigma_z)$ をパウリ行列とする：

$$\sigma_x = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}, \quad \sigma_y = \begin{pmatrix} 0 & -i \\ i & 0 \end{pmatrix}, \quad \sigma_z = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}.$$

1. σ_x および σ_y の固有値と固有ベクトルを求めなさい。
 2. 以下の等式を示しなさい。ただし、 $\mathbf{1}$ は 2×2 単位行列。

$$\begin{aligned} \text{i) } & [\sigma_i, \sigma_j] = 2i \epsilon_{ijk} \sigma_k \quad \text{ii) } \sigma_i \sigma_j + \sigma_j \sigma_i = 2 \delta_{ij} \mathbf{1} \\ \text{iii) } & i \neq j \text{ のとき, } \sigma_i \sigma_j = i \epsilon_{ijk} \sigma_k \quad \text{iv) } (\mathbf{A} \cdot \boldsymbol{\sigma})(\mathbf{B} \cdot \boldsymbol{\sigma}) = \mathbf{A} \cdot \mathbf{B} + i \mathbf{A} \times \mathbf{B} \cdot \boldsymbol{\sigma} \end{aligned}$$

3. \mathbf{n} を 3次元単位ベクトルとする。 $(\mathbf{n} \cdot \mathbf{n} = 1.)$ 以下の等式を示せ：

$$\begin{aligned} \text{(i)} \quad e^{-i\theta \mathbf{n} \cdot \boldsymbol{\sigma} / 2} &= \sum_{k=0}^{\infty} \frac{1}{k!} \left(\frac{-i\theta \mathbf{n} \cdot \boldsymbol{\sigma}}{2} \right)^k = \cos \frac{\theta}{2} \mathbf{1} - i \mathbf{n} \cdot \boldsymbol{\sigma} \sin \frac{\theta}{2} \\ \text{(ii)} \quad e^{-i\theta \sigma_y / 2} &= \begin{pmatrix} \cos \frac{\theta}{2} & -\sin \frac{\theta}{2} \\ \sin \frac{\theta}{2} & \cos \frac{\theta}{2} \end{pmatrix} \end{aligned}$$

[以上]